


呼吸器画像が 読めるようになる会

第4回教育セミナー

胸部X線写真，HRCT読影の
基礎から展開へ



プログラム・テキスト

会期 ◆ 2014年 8月30日(土)

会場 ◆ JCHO東京山手メディカルセンター 4F 講堂
〒169-0073 東京都新宿区百人町3-22-1

代表 ◆ 徳田 均
JCHO東京山手メディカルセンター 呼吸器内科 常勤顧問

呼吸器画像が 読めるようになる会

第4回教育セミナー

胸部X線写真，HRCT読影の 基礎から展開へ

プログラム・テキスト

会期 ◆ 2014年 8月30日(土)

会場 ◆ JCHO東京山手メディカルセンター 4F 講堂
〒169-0073 東京都新宿区百人町3-22-1

代表 ◆ 徳田 均
JCHO東京山手メディカルセンター 呼吸器内科 常勤顧問

○受講者の皆様へ

- 1) 受付：9:00～14:00
- 2) 座席は自由席となります。
- 3) 講義中、受講票は机上の見えるところにお置き下さい。
- 4) 会場内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードへ切り替えてください。
- 5) 会場内での撮影、録画、録音はご遠慮下さい。
- 6) お弁当は会場外にてお配り致します。また、お食事は会場内にておとりください。
- 7) ゴミ箱は数箇所に設置致します。ご利用下さい。

開会に当たって

「呼吸器画像が読めるようになる会」第4回教育セミナー

代表 徳田 均 JCHO 東京山手メディカルセンター
呼吸器内科 常勤顧問

胸部単純写真は、我が国で、検診だけで年間3～4千万枚が撮影され、その他、入院患者について行われるものを含めると、その数は数千万枚に及びます。撮影技術の簡便さ、低コスト、被曝線量の少なさ、豊富な情報量などから、今後も呼吸器疾患の検出、診断において重要な役割を担い続けることは間違いありません。特に震災以来、放射線被曝に人々の関心が高まっている昨今、単純写真の活躍の余地は一層高まったとも言えます。

しかしその読影には意外に多くの困難がつきまとう事は、皆さんが日々経験しておられるところです。

もともと肺は空気という X 線透過度の良い成分を豊富に含むので、その中に存在する液体や細胞などの水濃度 (water density) の構造を、極めて高い空間分解能で呈示できます。しかし一方で肺は①肋骨という構造物 (metal density) に囲まれている、②縦隔の前後、横隔膜の後方などにまで広がっており、それらの場所では読影が妨げられやすい、③肺門から放射状に広がる血管 (動脈、静脈) は、読影に当たっての“ノイズ”となり、これに重なる部分の読影を妨げる、などの困難がつきまとうわけです。

これらを克服するためには、正常構造の配置を、個人差も含めてよく知る事が重要です。さらに、④呼吸の深さ、撮影時の体位の僅かなずれで、これら正常構造の配置、ひいては見え方が大きく変わるので、それについても留意が必要です。

このように胸部単純写真の読影は多くの困難を抱えているものの、先達の努力によりこれらを克服する技術が蓄積され、読影学としてほぼ完成の域に達しています。特に鈴木らが創始した、肺の既存構造 (正常に存在する血管などの構造) を押さえ、その偏位から多くの情報を読み取る読影学は、我が国の独壇場といえるでしょう。画像を通して病理へ、更に病態へという、日本の結核病学の先達達が創始した方向性は、この読影学に脈々と受け継がれています。

しかし、このような読影学は、これまで師匠から弟子へという形で伝承されてきましたが、きちんとしたティーチングメソッドとして確立されないまま、今や若い世代に伝えて行く場が少なくなり、消滅の危機にさらされています。

我々4人は、それぞれ良き師に恵まれ、このような読影学を身につけることが出来、それを実践し、自分たちの周りの狭い範囲には伝えてきましたが、この様な情勢の中で、広く全国の若い人達にこれを伝えたいとの思いが強くなり、相語らって「呼吸器画像が読めるようになる会」を結成しました。3年前よりセミナーを開始したところ、毎回140名を超える熱意溢れる先生方の参加を得る事が出来、読影技術伝承の場を形成するという目標は達成されつつあります。

今年第4回となります。午前のセッションは3人の講師による胸部単純写真読影の方法論です。講師毎に切り口は微妙に異なりますので、その違いも含め、お楽しみください。

また午後のセッションではHRCTを取り上げます。HRCTを使いこなすには、やはり我が国で先覚者達が創始、発展させた「小葉構造に即した診断学」が重要です。びまん性肺疾患、腫瘍性疾患、更には感染症の一部においてもこの診断学が威力を発揮します。原理は比較的シンプルであり、そこを押さえれば応用範囲は広いのです。このHRCTの読影の基本を、やはり4人の講師で、分担してお伝えします。今年主題疾患として感染症を取り上げました。

参加の先生方が、呼吸器画像読影の基本を学び、その面白さを感じ取って貰えれば幸いです。

運 営 委 員

徳田 均 先生	JCHO 東京山手メディカルセンター 呼吸器内科 常勤顧問 呼吸器画像が読めるようになる会 代表/運営委員
山口 哲生 先生	JR 東京総合病院 副院長 呼吸器画像が読めるようになる会 運営委員
酒井 文和 先生	埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 教授 呼吸器画像が読めるようになる会 運営委員
楠本 昌彦 先生	国立がん研究センター東病院 放射線診断科 科長 呼吸器画像が読めるようになる会 運営委員

プログラム

9:55～10:00 開会の辞
JCHO 東京山手メディカルセンター 呼吸器内科 常勤顧問、KGY 代表 徳田 均

Part.1 胸部単純写真の所見の成り立ちと異常陰影の読影

10:00～10:50 **1** 胸部単純写真で見られる基本的な正常構造、
その陰に隠れる異常陰影 8
JCHO 東京山手メディカルセンター 呼吸器内科 常勤顧問 徳田 均

10:55～11:45 **2** 「人のハイ」で学ぶ胸部 X線写真読影 28
JR 東京総合病院 副院長 山口 哲生

11:50～12:40 **3** 無気肺の成り立ちと読影
～単純 X線と CTを対比させながら～ 48
国立がん研究センター東病院 放射線診断科 科長 楠本 昌彦

12:40～13:20 Lunchi time

Part.2 HRCT の読影の基礎と実践

13:20～14:00 **4** 小型肺がんの CT診断 64
国立がん研究センター東病院 放射線診断科 科長 楠本 昌彦 先生

14:05～14:45 **5** 小葉を基礎とした読影法の原理、
その応用としての肺結核症へのアプローチ 76
JCHO 東京山手メディカルセンター 呼吸器内科 常勤顧問 徳田 均

14:45～14:55 Coffee Break

14:55～15:35 **6** 症例から学ぶー呼吸器感染症
1. 市中肺炎を中心に 96

JR 東京総合病院 副院長 山口 哲生

15:40～16:20 **7** 症例から学ぶー呼吸器感染症
2. 免疫低下患者の感染症 116

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 教授 酒井 文和

Part.3 特別講演

16:25～17:05 **8** 画像でみる肺抗酸菌症 136

医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院 放射線診断科 医長 氏田万寿夫

17:05～17:10 閉会の辞

JR 東京総合病院 副院長、KGY 運営委員 山口 哲生

Part.1

胸部単純写真の所見の成り立ちと
異常陰影の読影

Part.2

HRCT の読影の基礎と実践

Part.3

特別講演

呼吸器画像が読めるようになる会 第4回教育セミナー 胸部 X 線写真, HRCT 読影の基礎から展開へ

※著作権保護のため著者の許可なく、本書記事の
転用およびコピーはご遠慮願います。

発行日：平成26年8月30日発行

発行人：呼吸器画像が読めるようになる会 代表 徳田 均

代 表：徳田 均 (JCHO 東京山手メディカルセンター 呼吸器内科 常勤顧問)

事務局：JCHO 東京山手メディカルセンター内

〒169-0073 東京都新宿区百人町3-22-1

E-mail：kokuuukigazougayomerukai@gmail.com

運営担当：土田謙二 (MA&P 代表)

TEL：047-360-0802 携)080-1156-6062

E-mail：kennji.tsuchida@gmail.com

出 版：(株)セカンド
 学術集会専門出版社
株式会社 セカンド
学会サポート

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

